他合同數量プレゼミテール

共に踏み出すはじめの一歩~あなたを待っている~

第8回 「あなたを待っている子供たちがいる」

令和6年3月6日(水)発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

子供たちとの出会いはもうすぐ

3月2日(土)に今年度の最終回となる第8回プレゼミナールを開催しました。今回は「あなたを待っている子供たちがいる」をテーマとして、仙台市教育委員会及び小中学校、高等学校の校長先生、並びに仙台市PTA協議会の会長からメッセージが贈られました。今回の参加者は61名、今年度の申込者総数は125名になりました。

1「4月1日着任に向けて①」

教職員課長が、受講者にメッセージを贈りました。初任校からのエピソード も交えながら、思いやりの心を持つこと、周囲の方々へ感謝の気持ちを忘れないことなどの話があり、「百折不撓」という言葉を最後に受講者へ贈りました。



2「4月1日着任に向けて②」

小中学校、高等学校の校長から、受講者にメッセージが贈られました。上杉山通小学校長からは、教育活動の 基盤は信頼であり同僚性を大切にすること、ワークライフバランスや健康の大切さなどについてのお話がありま した。 将監東中学校長からは、組織の中での意思疎通の大切さと共に、生徒との関わりや様々なドラマが一生の 宝物になることなどのお話がありました。 仙台高等学校長からは、現在の市立高校の様子、行事を通した生徒の 成長などについてのお話をいただきました。







3「4月1日着仟に向けて③」

仙台市PTA協議会の会長からは、保護者は深い愛情で子供を育てていること、そして、学校とPTAが共に寄り添っていくことが大切であるというお話がありました。保護者を代表するPTA協議会長からの言葉は、とても温かなメッセージとして受講者の皆さんの心に届く時間となりました。



4「同期の仲間との情報交換③」

プレゼミナール最後の情報交換は、小学校及び中学校・高等学校の12のグループに分かれて行いました。5 名の講師の方からのメッセージ受けて、4月から仙台市で働く仲間同士で、プレゼミナールを受講しての手応え と共に、来年度のプレゼミナール受講者へのメッセージを考え全体で共有しました。

<受講者の声>



○ 第8回のプレゼミナールでは、教育委員会・小学校・中学校・ 高校・PTAという多種多様な立場の方々からお話を伺うことができ、 校種や立場が異なっていても繋がりがあるということを実感できま した。どの方のお話でも1年目は失敗だらけでそれが当然であり、 それを乗り越え周囲と協力して励むことが大事ということを聞き、こ れからの教員生活へのエネルギーを得ることができました。着任まで の約1か月の間で気持ちを整え明るい気持ちで挑むことができるよ うな気がしています。

○ 第8回のプレゼミナール、ありがとうございました。教育委員会、学校、保護者と、様々な立場の方から貴重なお話を伺うことができました。今回に限らず、全8回を通して、やはり4月からの生活への期待が大きくなっていったなと感じます。第1回の頃には、同期のみんなと出会い不安な気持ちを共有することができました。今日まで参加していく中で、リアルな現場の先生方のお話や実習などでは見ることのできなかった部分をたくさん知ることができました。もちろん今でもとても不安です。もう1ヶ月を切っていると思うと、本当にドキドキです。ですが、4月から一緒に頑張っていく同期のみんなと一緒にプレゼミを受けたことで、楽しみな気持ちがとても大きくなっていきました。毎回のプレゼミがとっても楽しみでした。このプレゼミで学んだことと出会いを大切にしながら、4月から仙台市の子どもたちのために頑張っていきたいです。全8回、本当にありがとうございました!

O 4月の着任に向けて、校長先生方、PTA 協議会の高橋様よりお話を伺えたのは大変貴重な機会となりました。このような温かいお人柄の先生方や保護者の方がこれまで仙台市の子供たちを育ててくださったかと思いますと、これからその後を任された身として改めて気が引き締まる思いです。諸先輩方がされてきたように、私たちもたくさんの愛情をもって子供たちと接し、大切に子供たちをはぐくんで参りたいと思います。ありがとうございました。

○ 助けを求めること、周囲の人との交流の大切さを改めて強く実感しました。生徒とのつながりはもちろんのこと、先生同士での交流や保護者との交流、地域とのつながりなどを大切にできる教員になりたいと思います。特に、PTAの方から保護者目線のお話を聞くことができたことが印象的でした。保護者との交流については教育実習でも実際に経験したことはなく、イメージが付きにくく不安な気持ちも大きかったのですが、子どもへの深い愛情が背景にあるということを忘れずに保護者の方と同じ方向を向いて目標を共有し、より子どものためになる教育を目指していきたいと思います。



5 本年度のプレゼミナールを受講して「4月からの教員生活へ向けてのご自身の手応え等」 〈受講者の声〉

○ プレゼミを受ける前より不安は減り、楽しみだなという気持ちや、実践してみたいなという意欲が生まれました。先生方から具体的・実践的な話を聞けたことがとても参考になりました。ベテランの先生だけでなく、2年目の先生やICT に長けている先生など様々な立場からの話はとても良かったです。また、学校という組織のこと、校務分掌などの業務内容など、あまりイメージ出来ていないところがあったのですが、プレゼミの講義で学ぶことが出来たので4月から円滑に働き始めることができそうです。さらに、プレゼミで出会った同期の皆さんと沢山話をする機会があり、情報共有をしたり雑談をしたり仲を深めることが出来ました。プレゼミだけの縁ではなく、これから一緒に働く仲間として繋がりを持ち続けたいと思いました。体調不良で1回休んでしまいましたが、7回のプレゼミに参加して本当に良かったです。ありがとうございました。

- 〇 受講前はあいまいで不安だったところがクリアになって、不安感が取り除かれただけでなく、自分の自信にも繋がった。特に第5回の教えて先輩の講座では、具体的なお話を沢山聞くことができ、それが4月から働くイメージへと繋がっている。プレゼミを受講したことによって、良い準備を進めることができた。後輩たちにもぜひ受講してもらいたいと思う。
- 計6回のプレゼミナールに参加して、教師になるうえで感じていた不安が、4月から教師になる自信へと変わったことを実感することができました。現場を経験された先生や先輩先生の話を聞いて、4月からどんなことをして過ごせばよいか、4月からどんな生活が始まるのかを知ることができました。不安が1つずつ解消されることで、こんな先生になりたい、子供たちに早く会いたいと思うことができ、このプレゼミナールに参加してよかったなと思うことができました。また、同期の人たちに会えて、同じ悩みや期待を共有することができ、4月からのフレ研も楽しみになりました。4月からこの同期とともに教師の第一歩踏み出し、多くの子どもたちと出会いたいです。ありがとうございました。
- O プレゼミナールを受講する前は、楽しみよりも不安の方が大きかったです。ですが、プレゼミナールを通して、大学では学べないような現場のリアルな声や初日の流れ、経験豊富な先生の模擬授業などを聞き、自分が現場に出た時のより具体的なイメージを持つことができました。それとともに、学生から社会人になるんだという自覚も少しずつ持つことができてきました。また席も毎回大きく変わることがないため、初めは初対面だった人たちとも回を追うごとに仲良くなることができ嬉しかったです。同じような気持ちでいる同期の方々と交流できたことで、不安なのは私だけじゃないんだと思えて、4月から一緒に頑張っていきたいなと思えるようになりました。最初はとても緊張していましたが、毎回和やかな温かい雰囲気で参加してよかったです。ありがとうございました。

「後輩たちへ 今年度のプレゼミナール受講者からのメッセージ」







